

オオキンケイギクの駆除にご理解とご協力をお願いします。

オオキンケイギクは強い繁殖力で、在来植物を駆逐してしまうため、日本の生態系に重大な影響を及ぼすおそれがあるとして、外来生物法の『特定外来生物』に指定され、栽培や運搬、販売などが禁止されています。ご家庭の花壇や畑などで生育している場合は除草をお願いします。

1. オオキンケイギクを家に持ち帰ったり（運搬）種をまいたり（栽培）しないでください。
2. オオキンケイギクが生えている周囲の土を他の場所に持って行かないでください。
（種子が含まれております！）
3. 自宅でオオキンケイギクを発見したら、根から抜き取り、2～3日天日でさらすなど枯させてから燃やすごみに出してください。（捨てる際にビニール袋に詰めて密閉してください。）

オオキンケイギクの特徴

花・・・鮮やかな黄色で5～7月に大きさ5cm～7cmの花が咲く、キバナコスモスに似ている。

茎・・・高さ30～70cm

葉・・・対生または互生し、先が少しふくらんだ細い葉。（両面に毛が生えています。）

（キク科の多年生草で北アメリカ原産）

南西部地区ゆめおりパークでは、オオキンケイギクの除草を行っております。

皆様のご理解とご協力よろしく申し上げます。



八王子市みなみ野 枳谷戸公園、つどいの森公園周辺によく見られます。



平成22年6月 八王子市小比企町にて撮影



コスモスとの違いは葉を見ればよくわかります。

平成23年3月

南西部地区ゆめおりパーク 担当 矢澤

電話番号042-649-8900